

受験番号		名前
------	--	----

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。
 もう少しくわしく絵を見てみよう。まず、兎を投げ飛ばした蛙の口から線がでているのに気がついたかな。いったいこれはなんだろう。けむりかな、それとも息かな。ポーズだけでなく、目と口の描き方で、蛙の絵には、投げ飛ばした激しい気合がこもっていることがわかるね。そう、きつとこれは、「ええい！」とか、「ゲロッ」とか、気合の声なのではないか。まるで①漫画のふき出しと同じようなことを、こんな昔からやっているのだ。

もんどりうって転がった兎の、背中や右足の線。勢いがあつて、絵が止まっていな
 い。動きがある。(②)、投げられたのに目も口も笑っている。それがはつきりと
 わかる。そういえば、前の絵の応援していた兎たちも笑っていた。ほんのちよつとし
 た筆さばきだけで、見事にそれを表現している。たいしたものだ。では、なぜ、兎た
 ちは笑っていたのだろうか。蛙と兎は仲良しで、この相撲も、対立や真剣勝負を描い
 ているのではなく、蛙のずるもふくめ、あくまでも和気あいあいとした遊びだからに
 ちがいない。

絵巻の絵は、くり広げるにつれて、右から左へと時間が流れていく。ここでは、「お
 おい、③それはないよ」と、笑いながら抗議する応援の兎がまず出てきて、その先
 を見ると、相撲の蛙が兎の耳をかんでいる。そして、その蛙が激しい気合とともに兎を投げ飛ばすと、兎は応援
 蛙たちの足元に転がって、三匹の蛙はそれに反応する。一枚の絵だからといって、④ある一瞬をとらえている
 のではなく、次々と時間が流れていることがわかるだろう。この三匹の応援蛙のポーズと表情もまた、実にすば
 らしい。それぞれが、どういう気分を表現しているのか、今度は君たちが考える番だ。



問一 ①「漫画のふき出しと同じようなこと」とはなんのことですか。本文中の言葉を使って説明しなさい。

問二 (②)に入る語を次から選び、記号に○をつけなさい。

- ア だから イ しかも ウ しかし エ さて

問三 ③「それはないよ」の「それ」は何を指していますか。本文中の言葉を使って説明しなさい。

問四 ④「ある一瞬をとらえているのではなく、次々と時間が流れていることがわかる」のはなぜですか。次か
 ら一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア 『鳥獣戯画』は、動物たちのどこことなくおかしいポーズと表情を描いているから。

イ 『鳥獣戯画』は、身近な動物たちについて描かれているものだから。

ウ 『鳥獣戯画』は、動物たちの遊んでいる様子を連続して描いているから。

エ 『鳥獣戯画』は、長い間ちゃんと動物を観察した上で、その姿を正確に描いているから。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(十一歳の夏、私は万年筆をもらい、書きたくてたまらなくなつた。)

いざとなつて、自分が何を書くつもりなのか、ちつとも考えていないことに気づいたが、私は①ひるまなかつた。そんなことは大した問題とは思えなかつた。インクがしみ出してくる瞬間や、紙とペン先がこすれ合う音や、罫線の間を埋めてゆく文字の連なりの方が、(②) 大事なのだった。

大人たちはすぐに、娘が何やら夢中になつて書いていると気づいたが、必要以上に干渉はしなかつた。とにかく机の前で書き物をしているのだから、それは勉強、例えば漢字の書き取りのようなものに違いないと思ひ込んでほしい。

スリッパをはいて階段を登つてはいけなとか、お風呂に入った後は冷たいものを飲んではいけなとか、あの頃課せられていた多くの禁止事項の中に“書き物”が加えられなかつた代わりに、大人たちは誰も書かれた内容については③興味を示さなかつた。どうせ自分たちの知っている漢字ばかりなんだから、という訳だ。

私はまず手始めに、自分の好きな本の一節を書き写してみた。『ファーブル昆虫記』のフンコロガシの章。『太陽の戦士』の出だしのところ。『アンデルセン童話集』から『ヒナギク』と『赤いくつ』。アン・シャリーが朗読する詩。『恐竜図鑑』のプレラノドンの項。『世界のお菓子』、トライフルとマカロンの作り方。…

想像したよりずっと④わくわくする作業だった。たとえ自分が考えた言葉ではないにしても、それらが私の指先を擦り抜けて目の前に現れた途端、⑤いとおしい気持ちに満たされた。

言葉たちはみんな私の味方だ。あやふやなもの、じれつたいもの、臆病なもの、何でもすべて形に変えてくれる。

(小川洋子『キリコさんの失敗』)

問一 ①「ひるまなかつた」とはどういうことを表していますか。次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

ア 何かを書きたいとはもう思わなくなつた。 イ 何を書けばいいのかが分からなくなつた。

ウ 何を書いてもいいのだとは思えなかつた。 エ 何かを書こうという気をなくさなかつた。

問二 (②) にあてはまる言葉を選び、記号に○をつけなさい。

ア ずっと イ じつと ウ さつと エ ぐつと

問三 ③「興味を示さなかつた」のは、大人たちがどう思ひ込んでいたからですか。空らん当てはまるようにぼう線部③より前から探し、書き抜きなさい。

私の書いているものは)

()と思ひ込んでいたから。

問四 ④「わくわくする作業」とは具体的にどんなことですか。

()

問五 ⑤「いとおしい気持ちに満たされた」のはなぜですか。

()

